

海外事務所 主な活動報告（令和5年5月）

《ワシントン州事務所》

ワシントン州日本文化会館が日本の祝日に合わせて、「こどもの日」イベントを開催。

当事務所はブースを出展し、姫路城に関するクイズや塗り絵を実施するとともに、県内の城郭を中心に観光ルート等を紹介した。

当地では、日本文化を感じられる姫路城は人気が高く、子どもも大人も一生懸命クイズに回答している姿が印象的で、子どもから「大きくなったら、姫路城に行ってみたい」との声が聞かれたほか、子どもが塗り絵をしている間、その親からは「日本に行くので、兵庫県も訪問先として検討したい」と相談を受けることもあり、改めて、コロナ後における海外旅行への関心が高まっている様子が見られた。

＜「こどもの日」イベント 2023＞

○日 程 5月6日(土)

○場 所 ワシントン州日本文化会館

○概 要 日本や日系の文化を紹介するイベントで
例年、家族連れなど約1,000人が来場



ブースの様相（姫路城クイズ）

《パリ事務所》

本県と友好交流があるセヌ・エ・マルヌ県のラニー・シュル・マルヌ市に所在し、以前、神戸海星女子学院や県立西脇高校との交流を行っていた私立サン・ローラン高校を訪問した。

5月15日には、校長先生への着任挨拶に加えて、同校で日本語を教える先生（日本人）の授業（高校3年生）を見学した。これまでも当事務所では、日本文化の出前講座を行うなど、同校との交流を重ねてきた。今後も機会があれば積極的に交流していきたい。

5月25日には、同校の感謝祭（実業・技術科のインターン生を受け入れてくれる地元企業に感謝するイベント）で若者の国際交流の重要性についてスピーチを行った。

サン・ローラン高校では、来年4月に日本語授業に登録している生徒を対象にした日本への研修旅行を計画している（現在、生徒10名が参加予定）。2022年11月に同校で書道パフォーマンスを行った兵庫県の書道家のアトリエ訪問も計画しているとのこと。

同校は、今後、日本とのオンライン交流や生徒の往来の再開に期待しているとのことで、県内高校の交流再開を見据えた支援を行っていく。



日本語授業の様子

《香港経済交流事務所》

ベトナム・ハナム省人民委員長代表団が4月14日に来県し知事表敬を行った際、同省人民委員会及等が日越外交関係樹立50周年を記念して5月14日に開催する「2023年ハナム省文化観光推進ウィーク開幕式、日本・ベトナムの伝統芸能交流プログラム」へ、神戸市とともに招待された。これを受けて、当事務所では神戸市職員とともに出席し、ハナム省関係者をはじめ現地ネットワークの拡充を図った。



会場は約1万人の観客で超満員となった

＜「2023年ハナム省文化観光推進ウィーク開幕式、
日本・ベトナムの伝統芸能交流プログラム」への出席＞

○日 程 5月14日（日）

○場 所 ベトナム・ハナム省